

水道

料金水準



悪い

- ・料金収入だけでは供給費用が賅えていません
- ・将来のために必要な収益がありません

水を供給するのにかかる費用を皆さんからの水道料金で賅えているのは約72%です。残りの28%は、一般会計からの繰入金(補助金)で補っています。健全な水道を維持するためには、100%以上を目指す必要があります。

- ・経常収支比率 102.60%
- ・料金回収率 71.68%

収支のバランス



注意

- ・収入と支出のバランスは保たれていません
- ・老朽施設への更新投資ができていません

一般会計からの繰入金(補助金)で収支のバランスを保っていますが、建設改良費に必要な資金は積み立てできていません。そのため施設などの固定資産の老朽化に対する投資が追いつかないので、老朽化が進んでいます。

- ・経常収支比率 102.60%
- ・有形固定資産減価償却率 54.82%
- ・管路経年率 18.46%
- ・管路更新率 0.00%

水道施設の有効利用



注意

- ・水道施設の利用率は高めです
- ・有収率はとても低いです

水道施設の利用率は約86%で、一般的に見て高い割合です。一方で、有収率(施設からの配水量のうち皆さんに使われた水の割合)は約58%と低いため、実際には使われていない水のみまで稼働しています。このままいくと、施設の配水能力を超えることが懸念されます。

- ・施設利用率 85.78%
- ・有収率 57.96%

水道管の古さ



悪い

- ・耐用年数を過ぎた水道管があります
- ・昨年度は水道管の更新は行いませんでした

水道管の法定耐用年数である40年を経過した管は18%以上あります。一方で、令和2年度は水道管の更新は行いませんでした。古くなった水道管を計画的に入れ換えていく必要があります。

- ・管路経年率 18.46%
- ・管路更新率 0.00%

詳しくはホームページをご覧ください。

下水道事業については次号でお知らせします。



市ホームページ

ほくとの 上下水道

シリーズ4

北杜市の上下水道事業の 経営状況をお知らせします

経営および施設の状況を表す「経営指標」を活用して、上下水道事業経営の現状と課題を分析しました。今回は水道事業についてお知らせします。

水道管の凍結防止

水道管は気温がマイナス4℃以下になると凍結して破損してしまうことがあります。これから寒さが厳しくなるので各家庭でも水道管の凍結を防ぎましょう。

簡単にできる水道管の凍結防止策

- ・水道管がむき出しになっている部分をタオルで包み保温しましょう。電熱線を設置するのも効果的です。
- ・ビニール袋に発泡スチロールなどをいれて縛ったものをメーターボックスの中に入れて保温しましょう。
- ・外にある水道は水抜栓(不凍栓)で水抜きしましょう。

※給湯器の凍結による漏水や水抜栓の操作誤りにより水道料金が高額になる事案が多発しています。

凍結してしまったら…

蛇口などが凍結してしまったときは、凍った部分にタオルをかぶせ、その上からゆっくりぬるま湯をかけてください。

※熱湯は破裂の危険がありますので、絶対にかけないでください。

破損してしまったら…

メーターボックス内の止水栓を閉めた後で、市の指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。

※漏水工事の費用は、お客様の負担となります

上下水道総務課

☎ 42・1345

☎ 42・2335